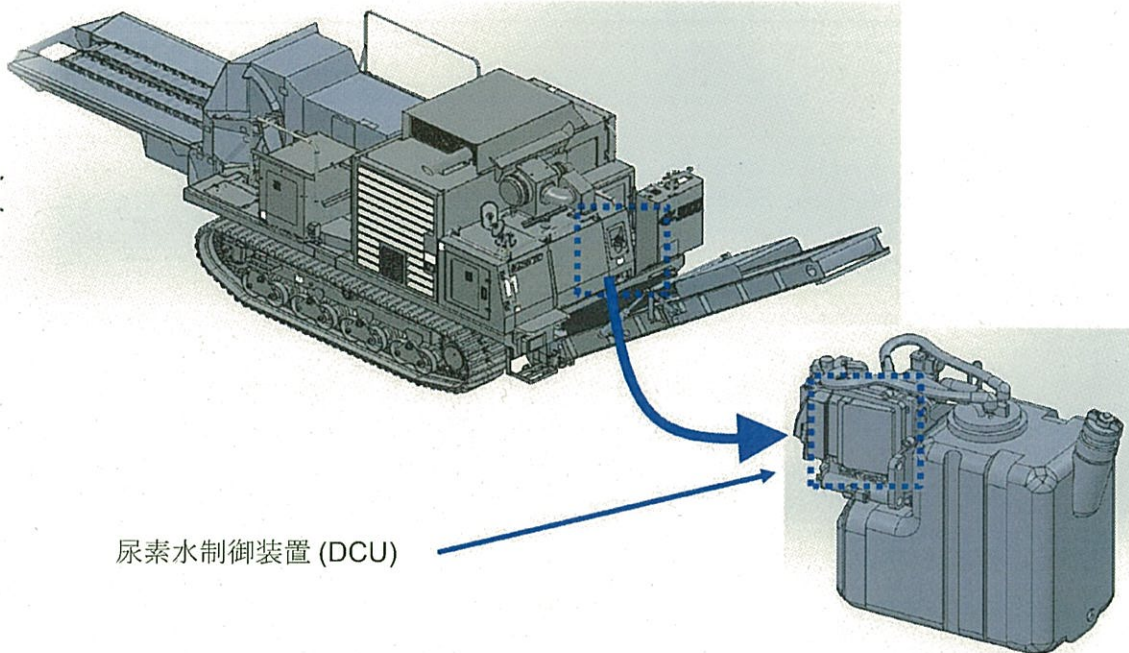


## － 改善箇所説明図 －



### 不具合発生箇所

平成26年規制の特定特殊自動車の内、一部の自動車に搭載した特定原動機に於いてNO<sub>x</sub>センサーを欧州の新化学物質規制 (RoHS2) 対応の互換性のあるセンサーに切り替えた際、RoHS2 NO<sub>x</sub>センサーは、従前のNO<sub>x</sub>センサーと比較して若干多い電流を必要とする。NO<sub>x</sub>センサーを起動する為の過熱時、場合によってはエンジンECUからNO<sub>x</sub>センサーへ供給する電流が不足した際、NO<sub>x</sub>センサーは一時的に加熱を停止する。この一時的な加熱停止を尿素水制御装置 (DCU) がエラーとして検知、ログとして蓄積したものをエンジンECUに伝えると尿素水の噴射が停止し、最悪の場合、稼動制限がかかる。

### 改善措置の内容

対象全機種に対し、尿素水制御装置 (DCU) がNO<sub>x</sub>センサーの加熱停止をエラーとする判定時間を適正化したソフトウェアに変更する。

### 改善実施済車の識別

所定位置の白色マーキングにより識別する。